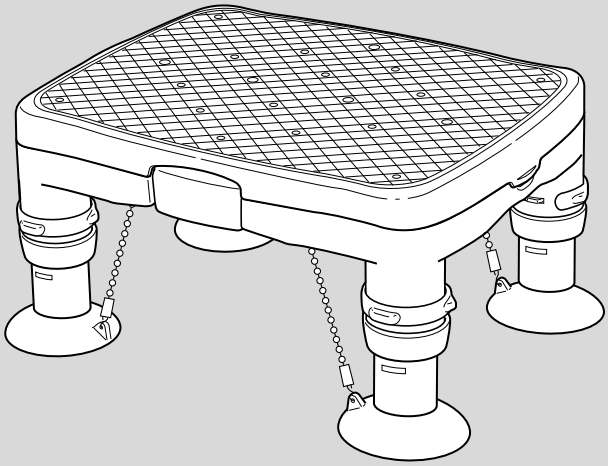
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

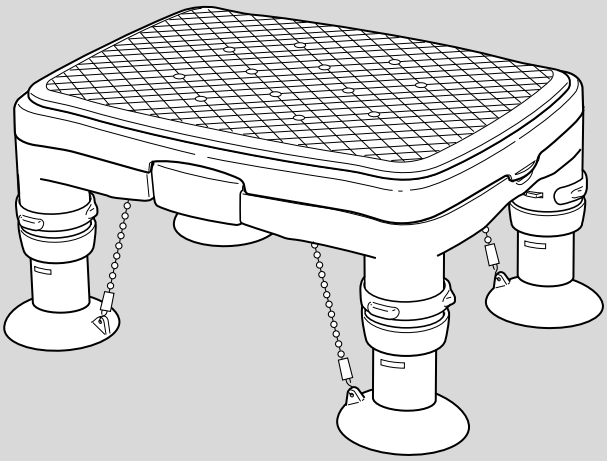
高さ調節付浴槽台R “かるぴったん” シリーズ 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびは高さ調節付浴槽台R “かるぴったん” シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



すべり止めシートタイプ



ソフトクッションタイプ

もくじ

安全上のご注意	1･2
各部のなまえと仕様・特長	3
高さ調節のしかた	4
取り付け・取り外しかた	5･6
使いかた	6
お手入れの方法	7~10

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

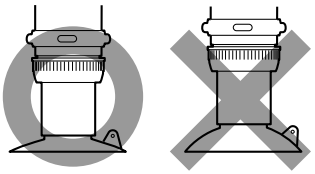
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠警告

必ず4隅を押えて吸着させ、4つの吸盤全てが固定されているか確認すること
一つでも固定されていないと本体が移動し、転倒やけがの原因になります。



高さ調節、吸盤交換をした後は、必ず以下の点を確認すること
- **スライド脚が4本とも同じ高さか**
- **ストッパーが確実に入っているか**
- **固定ナットが確実に入っているか**
- **チェーン固定ピンが固定されているか**
- **チェーンがねじれていないか**
- **チェーン固定ピンの差し込み穴とストッパーの差し込み穴の数字が合っているか**

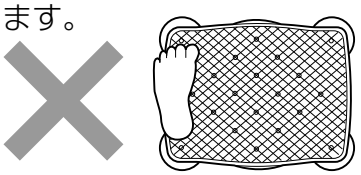
浴槽台がガタツキ、転倒し、けがの原因になります。

定期的に以下の点を確認すること
- **天板がはまっているか**
- **ソフトクッションが外れていないか**
- **ソフトクッション裏面のすべての突起が奥までしっかり入っているか**

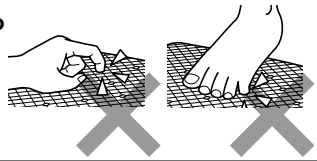
転倒し、けがの原因になります。

使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと
転倒し、けがの原因になります。

天面の端に足を置かないこと
本体が傾いたり、滑ったりして転倒し、けがの原因になります。

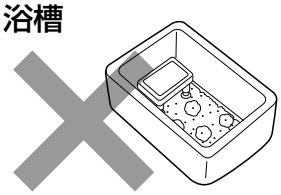


天板の水抜き穴に手指や足指を入れないこと
指が抜けなくなり、けがの原因となります。



浴槽内以外では使用しないこと
また、以下の状況で使用しないこと
- **すべり止めマットやスノコ等の上**
- **底部が平面でない浴槽**
- **木製の浴槽**
- **ノンスリップ加工やざらざらした面の上**
- **底部から気泡が出る浴槽**

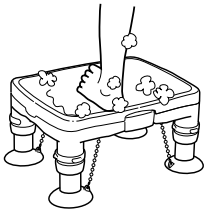
吸盤がつかなかったり外れたりして、転倒やけがの原因になります。



浴槽台を落下などで変形、破損させた場合は使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

浴槽台と浴槽の底面にぬめりや汚れが付着したままで使用しないこと
滑って転倒し、けがの原因になります。

石けん等のついた足で、浴槽台に上がらないこと
転倒し、けがの原因になります。



浴槽台の端から横方向に、強く力を加えないこと
本体が移動し、転倒やけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

改造をしないこと
本品が正常にはたらかず、けがの原因になります。

製品を取り外すときは、必ずオープナーを使用すること
無理に引っ張ると、天板や吸盤が外れ、破損する場合があります。

使用後は浴槽から取り出すこと
湯水につけたままではプラスチックや、ソフトクッション等の劣化が早まり、変形又は破損して転倒やけがの原因になります。

排水口の近くに設置する場合は、排水栓の鎖に注意すること
けがの原因になります。

追い焚き付き給湯器や直焚き浴槽、お湯が循環している浴槽（24時間風呂）で使用する場合は、湯沸かしが完了してから設置すること
プラスチックが変形又は破損し、転倒やけがの原因になります。

浴槽台は、こまめに清掃すること
すべり止めシートやソフトクッション、吸盤にカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、ケガの原因になります。

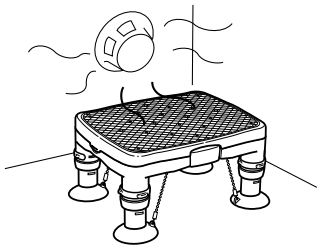
お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
製品が劣化または破損し、転倒やけがの原因になります。

チューブは確実にピンフックにかぶせること
ピンフックがむき出しのままだと、足に接触したときにけがの原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が変形または破損し、けがの原因になります。

他の用途では使用しないこと
けがの原因になります。

沸き出し口に近い位置に設置したり、湯温が高温（60℃以上）の状態で設置しないこと
ソフトクッションやプラスチックが変形または破損し、けがの原因になります。



直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと
製品が劣化または破損し、けがの原因になります。

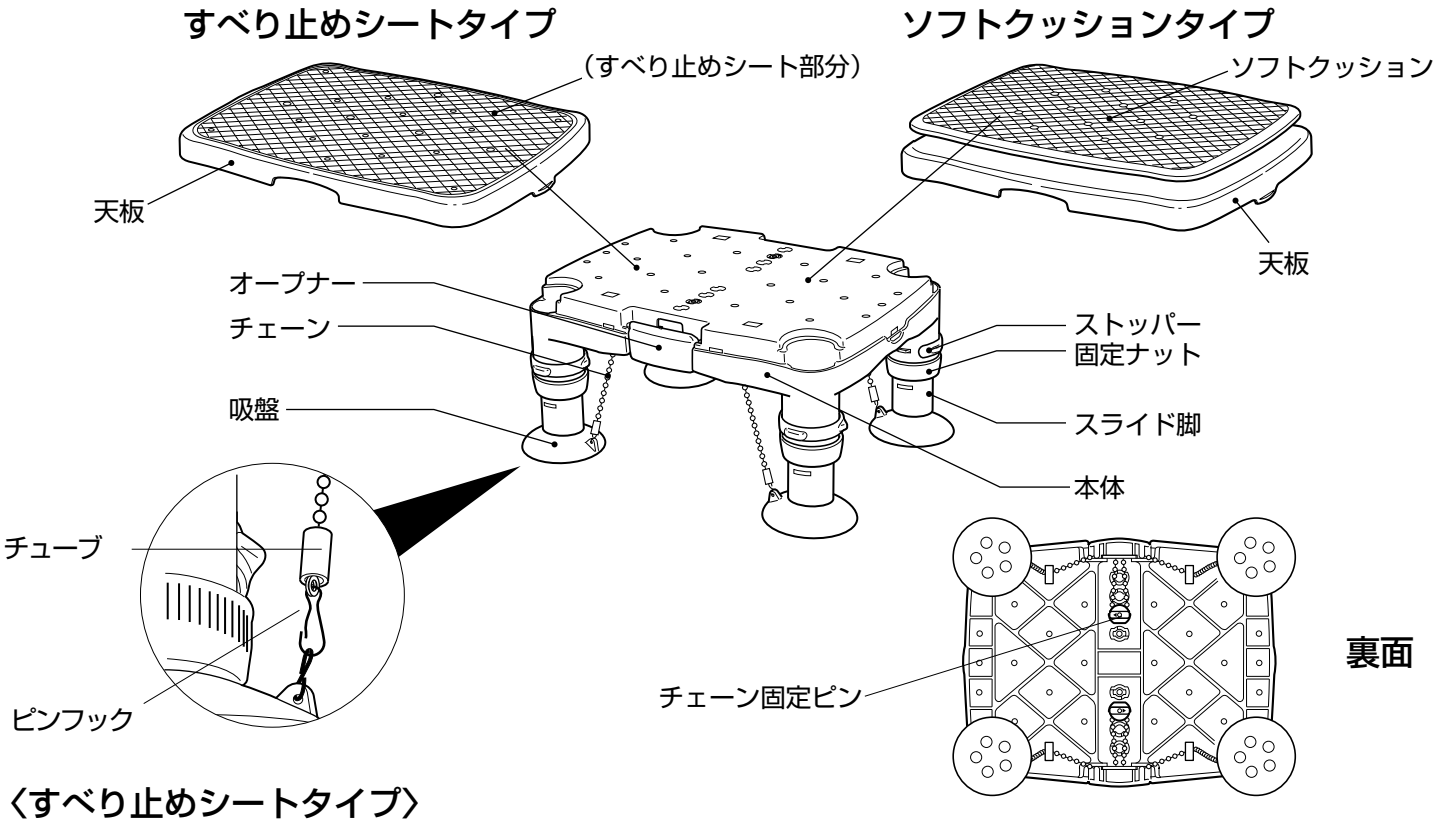
熱湯をかけないこと
製品が変形し、けがの原因になります。

火気に近付けないこと
製品が変形または破損する恐れがあります。

ご注意

温泉や入浴剤入りのお湯が入った浴槽に設置されると、プラスチックの劣化や金属部の腐食が発生するおそれがありますのでご使用の際はご注意ください。
腐食が発生したら使用をお控えください。

各部のなまえと仕様



〈すべり止めシートタイプ〉

品　名	サイズ	高さ調節	重　量	材　質
高さ調節付浴槽台R	幅42×奥行33× 高さ15～22.5cm	高さ15・17.5・ 20・22.5cm （2.5cmずつ4段階）	約2.5kg	本体・スライド脚・固定ナット チェーン固定ピン・オープナー　ポリプロピレン 天板：エラストマー／ポリプロピレン 吸盤：エラストマー ストッパー：ポリプロピレン／ステンレス チェーン・ピンフック：ステンレス チューブ：シリコン
高さ調節付浴槽台R ミニ	幅32.5×奥行28.5× 高さ15～22.5cm		約1.9kg	

〈ソフトクッションタイプ〉

品　名	サイズ	高さ調節	重　量	材　質
高さ調節付浴槽台R ソフト	幅42×奥行33× 高さ15～22.5cm	高さ15・17.5・ 20・22.5cm （2.5cmずつ4段階）	約2.4kg	本体・スライド脚・固定ナット チェーン固定ピン・オープナー　ポリプロピレン 天板：ポリプロピレン ソフトクッション：EVA（抗菌加工） 吸盤：エラストマー ストッパー：ポリプロピレン／ステンレス チェーン・ピンフック：ステンレス チューブ：シリコン
高さ調節付浴槽台R ミニソフト	幅32.5×奥行28.5× 高さ15～22.5cm		約1.8kg	

特長

●ミニタイプ特長
- 浴槽底面が狭い浴槽にも設置できるコンパクトタイプを品揃え。（製品サイズ：32.5×28.5cm）

●ソフトタイプ特長
- 天面にソフトクッションを取り付けた商品も品揃え。長時間座っていてもおしりが痛くなりません。

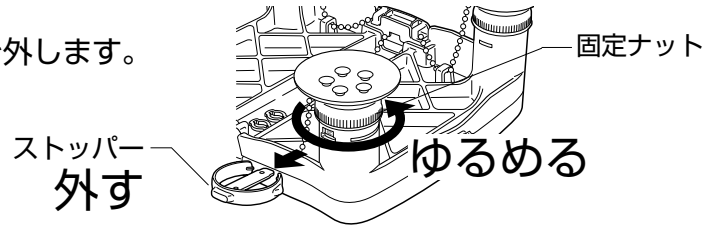
●共通特長
- 取り扱いやすい軽量タイプです。
- 横滑りしにくい特殊形状の吸盤を採用しています。
- 取り外しやすく、メンテナンスが簡単な構造になっています。
- 天板の高さは、お風呂の深さ、使用する人の体格や身体状況にあわせて、4段階（15/17.5/20/22.5）から選べます。

高さ調節のしかた

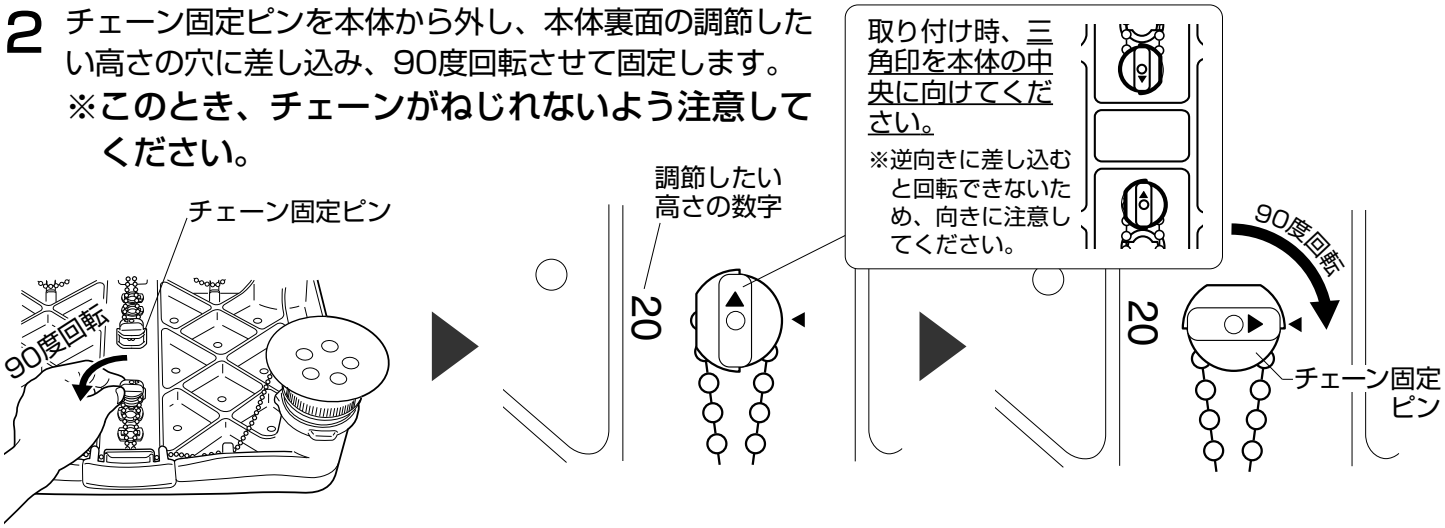
●開封時は高さ15cmになっています。

1～3の手順を必ず守ってください。転倒の危険や、高さ調節できない、吸盤が吸着しない、オープナーが作動しない（吸盤の吸着を解除できない）など不具合が発生することがあります。

1 本体を裏返し、固定ナットをゆるめてストッパーを外します。（4ヶ所）

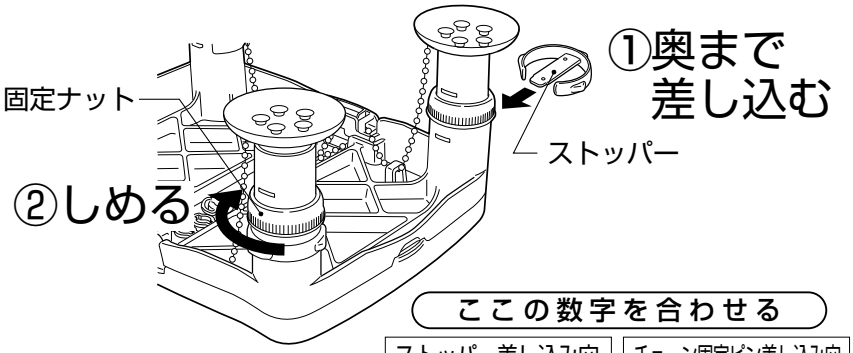


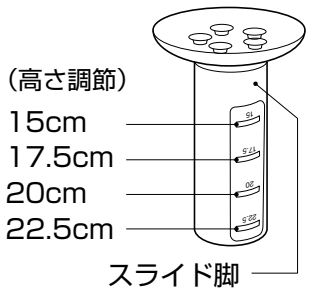
2 チェーン固定ピンを本体から外し、本体裏面の調節したい高さの穴に差し込み、90度回転させて固定します。
※このとき、チェーンがねじれないよう注意してください。



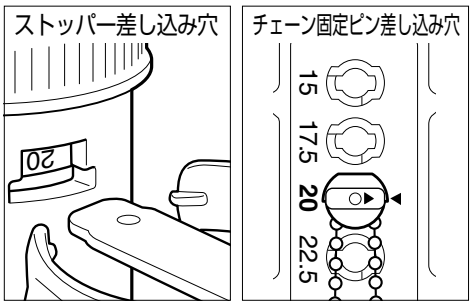
1. チェーン固定ピンを90度回転させて外します。
2. チェーン固定ピンを調節したい高さの穴に差し込みます。
3. 90度回転させて、三角印を合わせます。

3 スライド脚を上下させ、ストッパーを調節したい高さ（チェーン固定ピンの差し込み穴の数字と合わせる）の穴に差し込み、固定ナットを締めつけます。





ここの数字を合わせる



チェーン固定ピンの差し込み穴とストッパーの差し込み穴の数字は必ず合わせてください。

⚠警告

高さ調節をした後は、必ず以下の点を確認してください

①スライド脚が4本とも同じ高さか

②ストッパーが確実に入っているか

③固定ナットが最後まで締められているか

④チェーン固定ピンが固定されているか
浴槽台がガタツキ、転倒やけがの原因になります。

⑤チェーンがねじれていないか
吸盤が吸着せず転倒し、けがの原因になります。

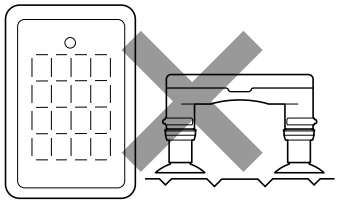
⑥チェーン固定ピンの差し込み穴とストッパーの差し込み穴の数字が合っているか
吸盤の吸着を解除できなかったり、オープナーが破損する原因になります。

取り付け・取り外しかた

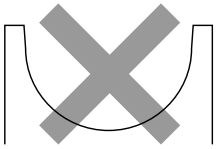
取り付けの前に

取り付け不可能な浴槽

下図の場所では、吸盤が浴槽底に吸着しないので、使用しないでください。



浴槽の底にすべり止め凹凸、傷やざらつきがある。



丸みのある浴槽

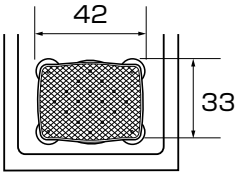
⚠警告

浴槽内以外では使用しないこと
また､以下の状況で使用しないこと
- **すべり止めマットやスノコ等の上**
- **底部が平面でない浴槽**
- **木製の浴槽**
- **ノンスリップ加工やざらざらした面の上**
- **底部から気泡が出る浴槽**

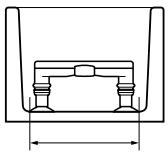
吸盤が付かなかったり外れたりして、転倒やけがの原因になります。

設置例

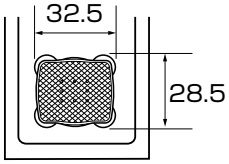
浴槽底の平面が43cm以上の場合



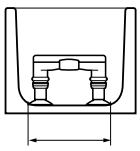
標準サイズの製品が設置できます。



浴槽底の平面が33cm～43cmの場合

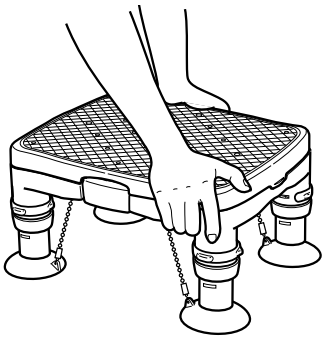


ミニサイズの製品が設置できます。



1 取り付け方法

必ず四隅を押えて取り付けること



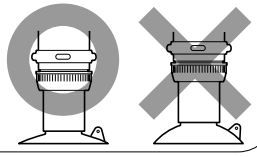
吸盤が浴槽の底面に確実につくように、四隅をしっかりと押えてください。

※湯沸かし後に設置してください。

⚠警告

必ず四隅を押えて吸着させ、4つの吸盤全てが固定されているか確認すること

一つでも固定されていないと転倒し、けがの原因になります。



⚠注意

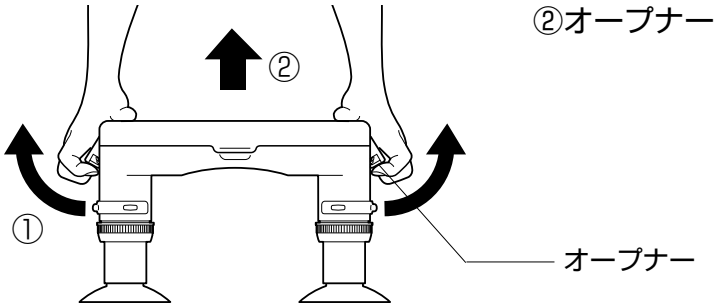
沸き出し口に近い位置に設置したり、湯温が高温（60℃以上）の状態で設置しないこと

ソフトクッションやプラスチックが変形または破損し、けがの原因になります。

2 取り外し方法

オープナーを使用すること

①オープナーを引き上げる（外側へ向かって回転させる）と吸盤の吸着が解除されます。
②オープナーを引き上げてから、全体を持ち上げてください。



⚠注意

オープナーを使用せず、無理に本体を引っ張って取り外さないこと

天板や吸盤が外れることがあります。

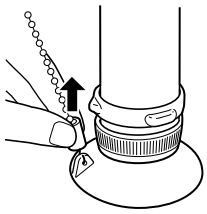
取り付け・取り外しかた

オープナーを引き上げても吸盤が解除されず取外しができない場合

無理にオープナーを引き上げると、オープナーが破損する原因になります。

吸盤の吸着を解除するには、それぞれの吸盤とチェーンの接続部を右図のように、引き上げて下さい。

取り外した後、P4「高さ調節のしかた」に従ってスライド脚の高さとチェーン固定ピンの位置設定が合っているか再確認してください。



⚠注意

給水口、給湯口、蛇口の近くなど熱くなるところでご使用する場合は、やけどする恐れがあるので注意すること

排水口の近くに設置する場合は、排水栓の鎖に注意すること
けがの原因になります。

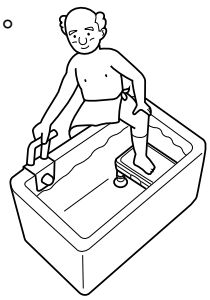
ご注意

温泉や入浴剤入りのお湯が入った浴槽に設置されると、プラスチックの劣化や金属部の腐食が発生するおそれがありますのでご使用の際はご注意ください。
腐食が発生したら使用をお控えください。

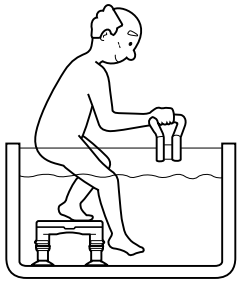
使いかた

※ご使用になる前に必ず吸盤がしっかり固定されているかご確認ください。
※入浴動作は体の安定を確認しながらゆっくりと行ってください。

1 浴槽のふちや手すりなどを必ず持って身体の安定を確認し、片足ずつゆっくりと浴槽台の中央部に移します。



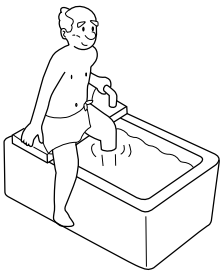
2 浴槽台から片足ずつゆっくりと浴槽内に足を移し、静かに座ってください。

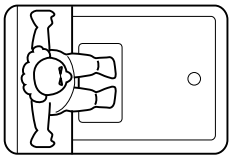


3 浴槽から出るときは、入るときの逆の手順で行ってください。

バスボードと併用する場合の例

※バスボードと併用する場合は、バスボードに座り、浴槽台に足を移してください。





バスボードと平行に足をおろす場所に設置してください。

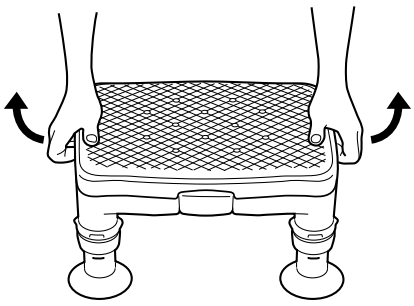
⚠警告

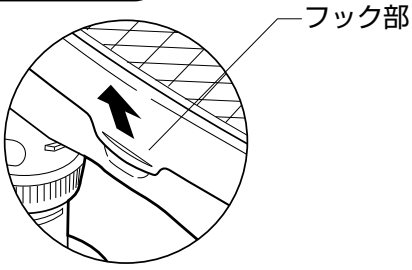
石けん等のついた足で浴槽台に上がらないこと
使用者が自分の体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと
転倒や、けがの原因になります。

お手入れの方法

●浴槽台は、長時間、水中や湿気にさらされると、湯あか等でぬめりが生じることがあります。こまめにお手入れしてください。
●吸盤は、吸着しづらくなった場合、そのままご使用を続けられますと大変危険ですので、新しい部品をお買い求めください。

本体と天板の取り外しかた

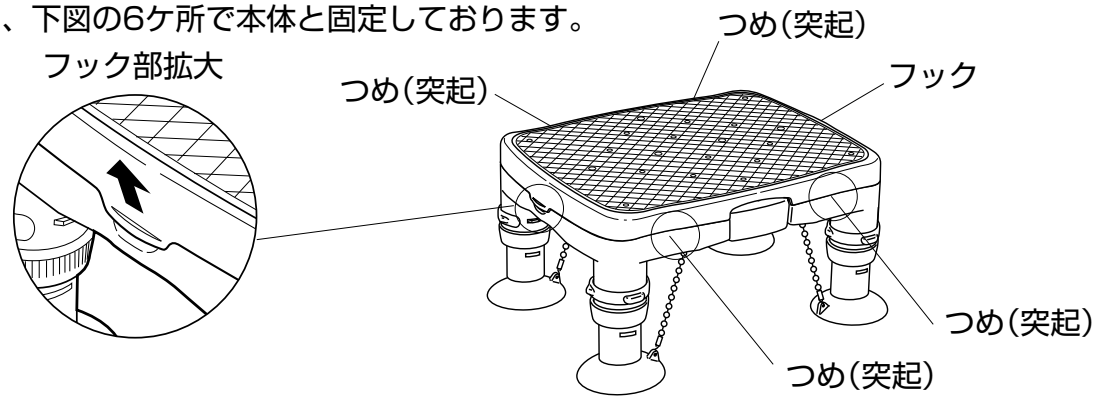




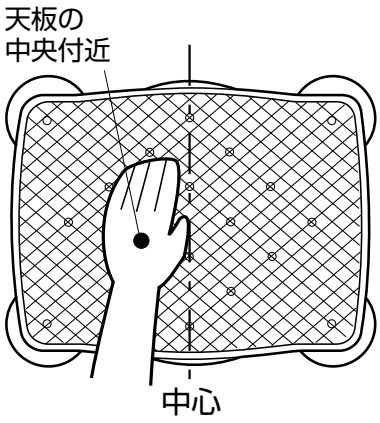
天板のフック部に手をかけて外側へ広げ、天板を外します。

※上記方法で外せないときは、以下の手順で取り外してください。

※天板は、下図の6ケ所で本体と固定しております。

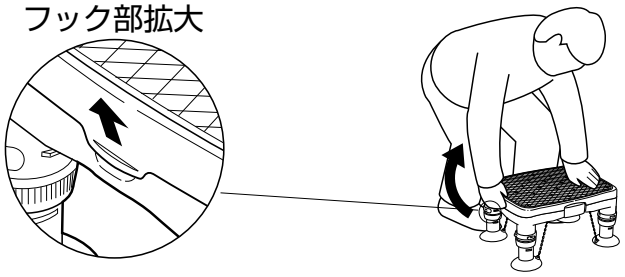


① 天板の中央付近を片手でしっかり押えます。(下図参照)



② もう片方の手で天板のフック部に手をかけて外側へ広げ、引き上げて天板を外します。

⚠ 注意 **天板を外すときは浴槽台が傾かないよう①で押えた片手に体重をかけてしっかり押えるか、吸盤を吸着させて行ってください。**(下図参照)

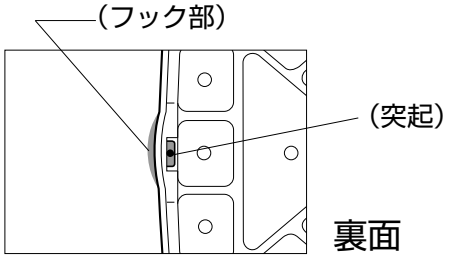


本体と天板の取り付けかた

本体の上に天板を置き、カチッと音がするまで押してください。

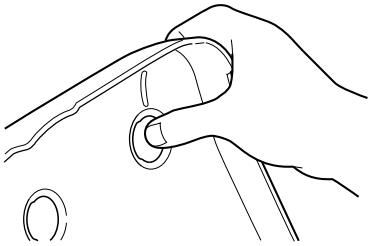
※天板が固定されているか、次の方法で確認してください。
①天板をはめたときカチッと音がしたか
②裏から見て、フック部の突起が本体にかかっているか（右図）

⚠ 警告 **天板がしっかり固定されているか確認すること**
天板が外れ、転倒し、けがの原因になります。



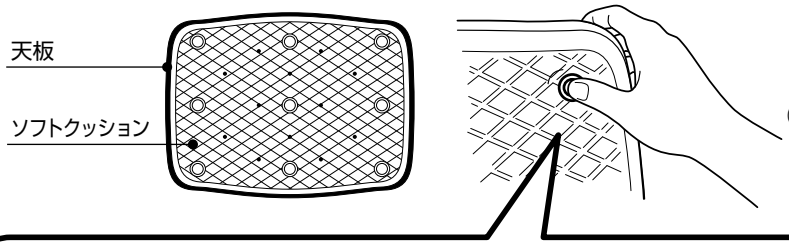
お手入れの方法

天板とソフトクッションの取り外しかた〈ソフトクッションタイプのみ〉



①天板裏面から、ソフトクッションの突起を押すと
ソフトクッションが外れます。

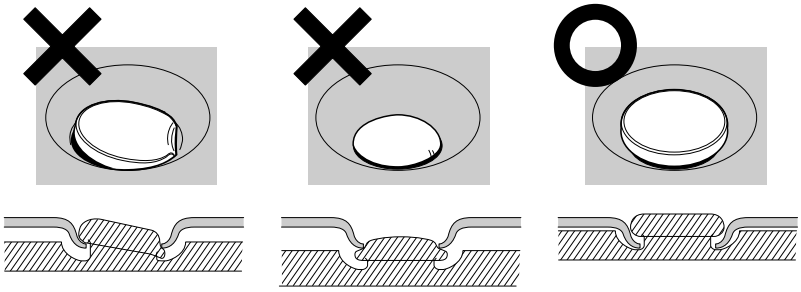
天板とソフトクッションの取り付けかた



①天板とソフトクッションを合わせます。

②ソフトクッションの表面の◎印（9か所）を1か所ずつ押して、天板にソフトクッションをはめ込んでください。

③天板の裏面から全てのソフトクッションの突起が完全にはまっていることを確認してください。



警告

**天板の裏面から、
ソフトクッション裏面の突起が全て
奥までしっかり入っているか、
十分確認すること**

中途半端にはまっていると、
ソフトクッションが外れ、転倒しけがの原因になります。

本体の洗浄

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

注意

●**浴槽台は、こまめに清掃すること**
すべり止めシートやソフトクッション、吸盤にカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、ケガの原因になります。

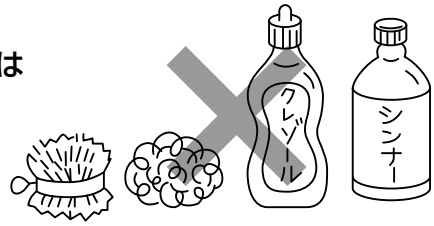
●**タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと**

●**塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと**
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●**直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと**
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●**熱湯をかけないこと**
プラスチックが変形し、けがの原因になります。

●**火気に近付けないこと**
プラスチックが変形または破損する恐れがあります。

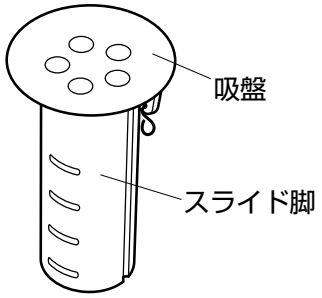


※以下の場合は、お買い求めになられた販売店にご相談ください。
①吸盤・ソフトクッションが汚れたり、破損した場合（吸盤・ソフトクッションは消耗品です）
②浴槽に吸盤の跡がついた場合（まれに浴槽によっては吸盤の跡がつくことがあります）

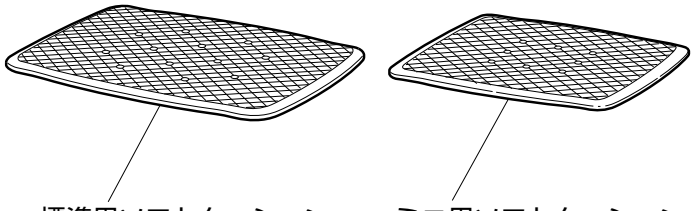
お手入れの方法

本製品の交換部品

①吸盤・スライド脚セット

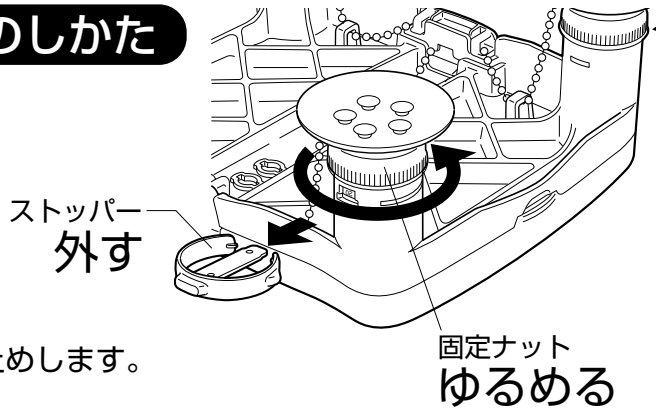


②ソフトクッション（標準用・ミニ用）

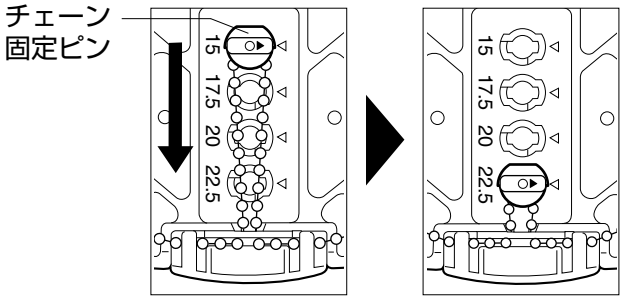


［吸盤・スライド脚セット］の交換のしかた

1 本体を裏返し、固定ナットをゆるめてストッパーを外します。（4ヶ所）



2 本体からチェーン固定ピンを外し、②-2図のように20cmあるいは22.5cmにチェーン固定ピンを仮止めします。

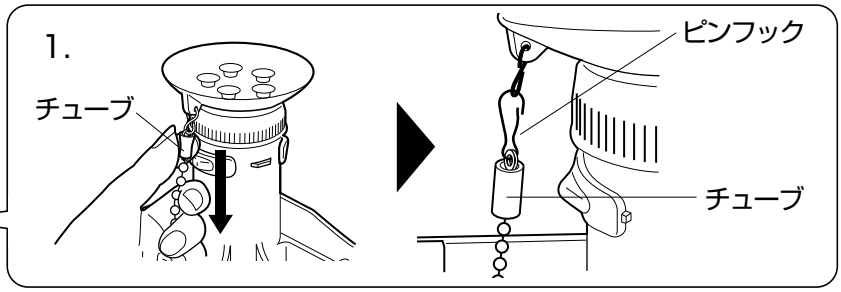


②-1図　②-2図

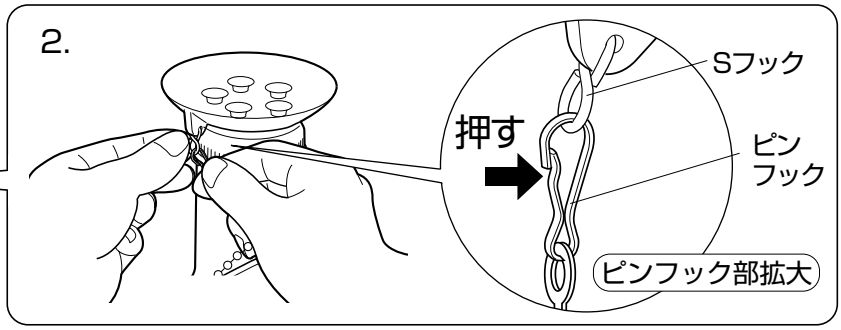
※高さを20cmあるいは22.5cmに設定している場合は、外す必要はありません。

3 チェーン先端のチューブをスライドさせてピンフックを出し、ピンフックを吸盤付属のSフックから取り外します。（4ヶ所）

1.チューブを下へスライドさせてピンフックを出します。

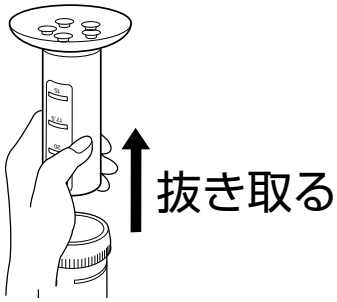


2.ピンフックを吸盤付属のSフックから取り外します。



お手入れの方法

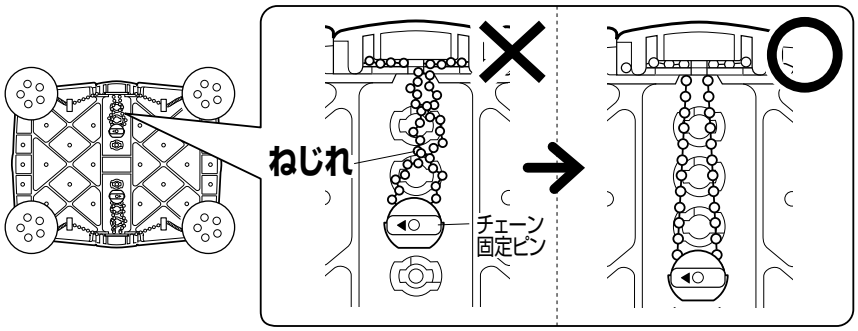
4 本体からスライド脚を抜き取り、
新しい［吸盤・スライド脚セット］と入れ替え、ピンフックを
Sフック部に取り付けてください。



⚠警告

ピンフックをSフックに取り付けるときに、チェーンがねじれていないことを確認すること
チェーンがねじれていると、チェーンが短くなり吸盤を引っ張った状態となるため、吸盤が吸着せず本体が移動し、転倒やけがの原因となります。

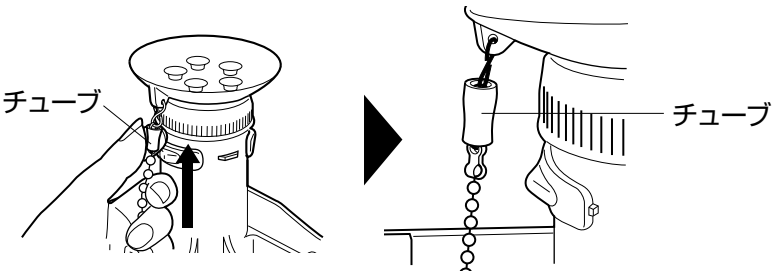
右図のようにねじれた場合、
チェーン固定ピンを外して
ねじれと逆方向へ、ねじれが
解けるまで回転してください



5 組み立ては逆の手順で行ってください。

⚠注意

外したチューブは確実にピンフックにかぶせること
ピンフックがむき出しのままだと、足に接触したときにけがの原因になります。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 12.03

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL(03)3502-1448
FAX(03)3502-1452

東京支店 ☎(03)3502-1422
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5475
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910704-1